

ご意見・ご要望をお寄せください。

いたばし元気帳

2019年春号

日本共産党

発行責任者：日本共産党板橋区議会議員団
板橋区板橋 2-66-1 Tel.3579-2717

区民が主人公の
区政へ

日本共産党板橋区議会議員 あらかわ なお

荒川なお

憲法 25 条には「健康で文化的な最低限度の生活を営む」国民の権利が謳われています。しかし、「介護を受けたくても受けられない」「長時間労働と休日出勤が多く、自分の時間が取れない」など切実な実態が私の所へ寄せられています。誰もが人間らしく生きられる社会をつくるのが、政治の責任です。

区民の切実な声にこたえる板橋区政の実現へ、みなさんとともに引き続き頑張ります。

●プロフィール●

1977 年生まれ。板橋区出身。板橋区立板橋第五小学校・板橋区立板橋第二中学校卒業。東野高校卒業、東洋美術専門学校卒業。民青同盟板橋地区委員長。新日本スポーツ連盟理事歴任。監査委員。板橋区まちづくり調査特別委員長。同決算特別委員会副委員長歴任。◎趣味：美術・旅行・フットサル・水泳・マラソン（板橋 city マラソン 42.195 km を 5 回完走）

●主な活動地域●

坂下、東坂下、舟渡、若木、西台、志村 3 丁目、相生町、蓮根 1、2 丁目

連絡先：荒川なお事務所
Tel 3960-8530

区民の切実な声にこたえて

返済不要の奨学金 制度を区独自に

専門学校に通う若者から「学費が高すぎる。バイトと学業を両立できずに体調を壊している」と相談を受けました。

私は 2017 年 2 月の区議会本会議で、政府が始める返済不要の奨学金で対象になる学生は全体の 2.5% にすぎないと指摘し、板橋区独自の



制度創設を求めました。区長は「国に要望を上げたい」と答弁しました。



「数年前に会社が倒産して非正規雇用になり給与が激減した。国保料を払いきれない」という悲鳴が。共産党区議団は 2017

国民健康保険料の 負担軽減を

年 3 月、新年度の国保料負担が増える区民に助成金を支給する条例を提案しました。ひきづき負担軽減に全力をあげます。

駅エレベーター・ 温水プールを実現

上板橋駅南口に 2015 年 3 月からエレベーターが設置されました。

念願の小豆沢体育館温水プールが実現、2 月に OPEN。

平和と憲法守り抜く 核兵器禁止条約の批准を

2017 年に採択され、調印・批准の受付が始まった核兵器禁止条約。核兵器の使用も実験も、威嚇も禁止した画期的な条約です。区議会では国に批准を求める陳情が審議されていますが、自民党、公明党の反対で採択されていません。

安倍首相は、憲法に自衛隊を書き込んで海外での武力行使を無制限にする改憲案をねらっています。「安倍改憲 NO！ 3000 万人署名」を



広げ、国民の世論と運動、市民と野党の共闘をつよめるため、私もうまがります。